

○委員長（島 昌之）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

---

1 調査事件

(1) 「新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査業務」進捗状況等に係る中間報告書について

○委員長（島 昌之）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、1月10日付で企画部から資料が配付されている。
- ・ 新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査については、重要な案件であると認識しており、今後、年度末に最終報告が出てくる予定ではあるが、まずは中間報告書の内容について説明を受けるため、今回、委員協議会を開催することとした。
- ・ 資料の説明を受けるため理事者の出席を求めたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ それでは入室を求める。

（企画部 入室）

○委員長（島 昌之）

- ・ 本件に係る資料についての説明をお願いします。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 1月10日付で配付している「新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査業務」進捗状況等に係る中間報告書について、説明させていただく。
- ・ まず、説明に入る前に、今回の中間報告書の位置づけであるが、本市が現在実施している新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査の業務委託に当たっては、委託業者に対して業務の進捗状況を確認することを目的として、令和5年12月頃を目途に進捗状況などに関する中間報告を行うことを業務委託の仕様の中で求めていたところであり、このことに基づき、昨年末、委託業者より中間報告書として提出されたものである。
- ・ 資料説明：「新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査業務」進捗状況等に係る中間報告書について（令和6年1月10日付企画部調製）

○委員長（島 昌之）

- ・ お聞きのとおりである。
- ・ 本件について、正副としては、最終報告が年度末に出してから本格的な調査を行いたいと考えているが、現時点で何か確認事項等があれば、発言を願う。

○出村 ゆかり委員

- ・ 一通り説明を伺った。まず中身に入る前に、私どもの委員会にこちらが発表されたのは1月10日の午後3時だったが、その前に新聞報道が朝刊であった。そちらで私たちは知ることになったわけだけでも、この新聞の中身を見ると中間報告の内容が9日に分かったというふうに書かれている。
- ・ これはどういうことでこのように情報が漏えいしたのか、その経緯について聞かせてほしい。

#### ○委員長（島 昌之）

- ・ 出村委員に申し上げたいが、マスコミに関することについては、理事者が答弁できないこともあるかと思われるが、企画部、その辺はどうか。

#### ○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 中間報告書については、1月10日付で議員の皆様にお配りするとともに、報道機関への投げ込み、あるいは市のホームページへの掲載により、公表させていただいたところである。
- ・ しかしながら、委員の御指摘のとおり、今回公表前にもかかわらず中間報告書に記載されている内容が1社ということ認識しているが、新聞に掲載されたところであり、市としては大変遺憾に思っているところである。
- ・ 今回、中間報告書の内容が新聞報道されるに至った経緯、経過については把握しておらず、お答えすることは難しいところであるが、対外的な公表前でありながら、行政が保有する情報というものが一部のマスコミなどに伝わるというようなことについては、好ましくないものということ認識しており、今後、調査を進めていくに当たっては、改めて情報の管理徹底に努めてまいりたいと考えている。

#### ○出村 ゆかり委員

- ・ おっしゃるとおりだと思う。
- ・ 市の職員の方々はもちろんしゃべるわけもなく、その辺は守秘義務があるわけだから信じてはいるが、では千代田コンサルタントさんのほうで情報が漏れてしまったというふうに考えられるのか。

#### ○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 今回の新聞報道に至った経緯、経過については、先ほどお答えしたとおり把握しておらず、なかなかお答えするというところは難しいところであるけれども、委託事業者とは契約書の中で委託業務の内容を第三者に漏らし、または公表してはならない旨の秘密の保持に係る項目があり、その遵守徹底に努めていただいているものというふうに認識している。
- ・ いずれにしても、今回の事案を踏まえ、今後こうしたことが生じないように改めて職員をはじめ、調査関係者なども含めて、情報の管理徹底に努めてまいりたいと考えている。

#### ○出村 ゆかり委員

- ・ 先ほど委員長のほうからも重要案件であり、委員会報告があったということで、こういった協議会を開催しているわけだけでも、やはりその辺の部分において、またやっぱり新聞報道が先なのかということで、今回、非常に私どもも落胆したというか、中身よりも先にやっぱりそういった点が非常に引っかかる。
- ・ 先方の千代田コンサルタントさんのことをちょっと調べましたら、コンサルタント会社だからいろいろな指定をもらって事業を行っているところなんだけれども、新幹線関係はなかったが、毎年のように各自治体、様々な自治体から指名停止になっている。大きなもので言うと、去年、山梨県で橋の設計ミスで公費が3倍になって工期が4年半延長と——これは千代田コンサルタントさんの設計ミスだということで大きく報道された。
- ・ 新幹線ではないからということもあるかもしれないし、設計の世界はちょっと私も分からないが、こういった指名停止になるということは建設業界ではよくあることなのか。分かっていたら聞かせて

ほしい。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ こちらのほうでは把握してないということで、ちょっとお答えするという事は難しいということで御理解いただきたい。

○出村 ゆかり委員

- ・ これで最後にする。やはり、一つこうやって物事にちょっと疑いの目が出てしまうと、こういうふうにはぼろぼろぼろぼろと出てくるものだから、コンサルタント業というのは、特に弁護士だとか税理士だとかのプロフェッショナルなものでなく、特に資格が要るものではない士業なので、そういった方たちにこの守秘義務の大きさというものは求められないのかもしれないけれども、今回、大きな予算をかけて調査を委託しているわけだから、そういったノウハウなんかも、私たちがクライアントとしてお願いしているそういった情報もほかに漏らすんじゃないかなという不安も私は感じている。そういったことのないように、今後、しっかりと取り組んでいただきたいと思う。

○福島 恭二委員

- ・ 今の件なんだけど、課長さんのほうから先ほど情報についての漏れというか、資料の出し方の在り方ということについてちょっと説明があったけれども、皆さん方もそういう認識でいいのか。全てこれから議会に出す資料については秘密裏にして、とにかく議会に出るまでは一切漏らさないように、引き続きこれから資料を提供することになるのか。その辺のことをちょっと確認しておきたい。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 先ほどと同じような御答弁にはなってしまうが、行政が保有する情報が対外的な公表前に、一部のマスコミなどに伝わるような形、報道という形でなっていくということについては、基本的に好ましくないということで認識しており、今後についても、そうした観点から情報の管理徹底に努めてまいりたいと考えている。

○福島 恭二委員

- ・ 好ましくないというふうに思っているということ自体が、いかがかなと私は思う。好ましくないというふうに思いながらも、これまで私どもも全く知らない内容が各部から提出されてきた時期がたくさんある。こういうことも間々あることだ。間々あるし、私どもが漏らさなくても、マスコミさんの努力でそれぞれ情報収集して報道する場合もある。誰の責任とは言わないよ。だけど、この種のやつは、マスコミさんの努力の結果ではないかと私は思わざるを得ない。それで昔の話で言えば、何度も今言ったようなことがあった。好ましくないと言ったから、好ましいようにしてくださいと。つまり、それはどういうことかという、委員会、議会に出さないうちは一切マスコミにもどこにも漏らさないということで徹底してやってきた時期があった。それを言い換えれば、議会軽視だと、おかしいんじゃないかということで随分追及された時期もあった。しかし、最近の情報化時代になって、それぞれの報道機関も含めて、私どもも含めて、いかに早くにその情報を入手するかと、お互い努力の結果で今日まで来ている。そういうようなことは防ぎようもないんじゃないかということから、これはやむを得ない話だと。本当に議会に出す前に漏らされては大変な問題であれば別だよ。内容によるけどね。内容によるけれども、だから、そういう管理を今度は皆様方は徹底して出さないようにしていくという姿勢なのかどうかと思うときに、私はそれは無理なことではないかと思う。だから、今、出

村委員はそのことについておかしいというふうな視点で尋ねたようだけれども、最終的には皆さんの報告の中で収まったけれども、しかし収まったけれども今後のことからすれば、あなたの答弁からすると、今後、一切こういうことはありませんと言い切ってるような言い方に聞こえるもんだから、それでいいんでしょうかねと私は尋ねている。本当にそれでいいのか。これからもたくさん各委員会でもあると思う。私どもの委員会や議会に報告される前に、報道されることは今はたくさんある。そのことが、情報管理を徹底できるんだったらいいんだけど、この情報化社会の中で、出しているものと悪いものはある。取捨選択はしなければならないよ。もしそういうことだとすれば、あなた方は一切私どもにも事前に耳打ちもしないし、何も来ましたよと報告もしないはずだ。だけれども今回のようなこの問題は、私どもも含めてこれは重大な関心事である。新市長の最大の公約だからね。この行方を求めて、どうなるのかなということに関心事の高い問題である。だけにね、お互いに早めの情報収集をしたいという思いに駆られるのは、私は当然だと思う。だけれども出た内容はこういう内容だった。今、説明があったようにこれ以上は何もない——何もないのである。私に言わせると、一日か二日か早く出されたからと言って、出村委員には悪いけど、この程度の問題だから大したことはないのではないかなと思いたいんだけど、それぞれの受け止め方だから。これは出村委員の言い分は尊重するよ。だけれども、今後のことについて、今、大変遺憾なことだというようなことを言っているから、本当にその情報管理をきちんとできるんでしょうかねと思うもんだから。しかも、企画部だけでなく、各部が本当に徹底してそういうことができるんだろうかなと思うときに、この先のことが心配だから言う。一切漏れないと。議会に出さないうちは一切マスコミに出ないということと言い切れるのかということ、私は心配だから聞いている。その答弁でいいのか。

#### ○企画部長（阿部 慶太）

- ・ 私どもとすると、今回の調査については、今委員の皆様からお話があったとおり、市長の非常に大きな公約のうちの一つになるので、まず基本的にこの情報の管理については、やはり重たいものと受け止めている。一方で、福島委員が今おっしゃったように、マスコミがいわゆる知る権利の下に、正当な取材活動を行って記事を書く——これも別に我々とすれば、そういうものだなと受け止めている。では、全てのもの、行政が持つ情報の一切を議員の皆さんや委員会、議会の場において出す前に、全てマスコミさんとやり取りを一切しないかと言われると、私どもとすれば、ちょっと言葉足らずだったかもしれないけれども、決してそういうつもりはない。問題は今お話のあったように、ものの重さの問題だと思っている。
- ・ このたびの新幹線の調査については、そのぐらい非常に重たいものだというので、我々とすれば考えており、そのような答弁をしたところであるが、今後においては当然内容のいかんによって、当然今まで私どももこれによらず、マスコミさんの取材を受けてお話をすることもあつたし、先に新聞に出ることもあると思う。なので、その部分については、内容の軽重だとかそういったものによって、その時々で判断されるというふうには考えている。

#### ○福島 恭二委員

- ・ 部長が答弁したから大体分かった。だけれども、この情報化社会の中で、あるいは今の行政の委託している問題も、予算を伴って委託している。このことは言ってみれば、市民の情報である、知る権利が市民にもある。だから、出されたからと言ったって、私に言わせるとこの程度の問題は大した問題

ではない。数字が入っているわけではないし、期限が入っているわけじゃないから。出されても正直に言って質問のしようがない。ただ出される前だから、恐らくは数字だとかいろんな作業工程だとか日程だとかのものも入ってくるんでないかなという期待もしたと思う。だけど、見た限りはこの程度のもので、議論のしようがない問題である。だから、私から言わせれば、今日の社会からすれば、あるいはまた市民の知る権利、市民の情報だという認識に立てば、例えば悪いけども、1週間も2週間も前に漏れたなら別けども、一日や二日の違い、何時間かの違いで出されたこと。出村委員の言うとおりに、気分的にはよくないよ。けどもね、見た内容はこの程度。同時に今日の社会状況を考えると、それぞれが今、いみじくも部長が言ったように重い内容だけに、知りたいと、いち早く知りたいと。私どももしかりだけど、マスコミさんも当然そういう思いになるだろうと思う。その過程の中で、それぞれの努力でこの情報を得たのかも分からない。どこから入ったのか分からないけどね。

- ・ いずれにせよ、そういうものはあり得る事である。あり得る事なんだから、今後一切ないような言い方はやめたほうがいいかなと。部長には、それぞれ答弁されたから、それを了とするけどね。けども、本当に十分に気をつけなければ、議会としても、議会に出さないものは一切出さない。徹底するなら徹底してほしいと思うけれども、今の時代にできるか。できないよ、この情報化時代だから。市民も皆、知る権利がある。そういうことなどを考えれば、少し慎重な答弁をしてほしいなということだけ申し上げる。
- ・ この報告が今日になったのはどういうことなのか。12月に出されたと言って、今日、委員会になった。10日に各委員会に発表したと、そして今日の委員会になったと。どういう理解をしたらいいのか説明してほしい。

#### ○委員長（島 昌之）

- ・ 正副でいろいろと協議して、今日の委員会協議会の日程を設定させていただいたということであり、特別、今日のこの日でなくてはということではなく、協議した上で今日に設定させていただいたということであり、理事者のほうからは答えづらいのかなと思う。一応、委員長のほうからそのように設定させていただいたということである。

#### ○福島 恭二委員

- ・ 皆さんは10日に発表したと。それで今日委員会になった。ところが、この品物は去年の暮れに来ている、去年の暮れに。去年の暮れに来ているのに、10日に発表して今の委員会になったと。今日の委員会になったということの意味は、おそらく皆さんの日程調整等々で今日になったということは理解する。10日に出てきた、出したという意図はなんだったのか、ちょっと聞かせてほしい。

#### ○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ このたび委託業者から提出のあった中間報告書については、12月頃に進捗状況に係る中間報告を行うということを業務委託の仕様の中で定めていたものであり、委託業者のほうからは、昨年12月下旬、具体的には12月27日付で中間報告書の提出がなされたところであり、その委託業者からの提出後公表に向けた事務作業などを進め、1月10日付で公表させていただいたというものである。

#### ○福島 恭二委員

- ・ これは12月27日には出てきたと。といえば、日程的に年末年始の関係で暮れに出すいとまがなかったということは分かる。それが10日になったと。10日より前にできなかったのか。10日に出したとい

うのは、何か意味があったのか。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 先ほど申しあげましたとおり、委託業者のほうからは12月27日付で中間報告書が提出されたところであるけれども、その後、内容の精査だとか庁内の確認作業、また先ほどお話したとおり公表に向けて事務作業というところで、一定の期間を要しまして、なるべく速やかに皆さんにお配りしたいという中で、1月10日付で公表させていただいたというところである。

○福島 恭二委員

- ・ 日程的なことから言ってできるだけ早くという結果、10日になったということである。
- ・ 内容については先ほど説明をいただいたが、函館市のほうで求めた調査項目の全てが網羅されているということで理解してよろしいか。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 当初、公募型プロポーザルを実施するに当たって、市が企画提案仕様書で求めている内容については、大きく4項目ある。具体的には整備費、整備工程の整理などを求める函館駅乗り入れ整備費等調査。それから新幹線の乗り入れに伴う並行在来線への影響分析を行う北海道新幹線並行在来線対策協議会資料の分析調査。新幹線が乗り入れた場合の将来の旅客見込み者数を算出する旅客見込み者数予測調査。最後に新幹線の乗り入れ時から30年間の収支予測を求める乗り入れ効果の検証調査の以上、4項目であり、これら4項目については、今回、中間報告のあった調査項目で申しあげると、大きな6つの柱のうちの③から⑥という形で全て網羅されており、これらは市が求めている調査内容、調査目的に沿った形で、前段の①②という大きな2つの柱を追加した上で、また具体の調査項目も設定した上で、様々な分析、精査などの作業が進められているというところである。

○福島 恭二委員

- ・ それでは確認するけれども、市が求めた内容を全て網羅されているということで理解していいか。（理事者一同うなずく）
- ・ 分かった。
- ・ いずれにしても、この問題については先ほど言ったように、新市長の最大の公約の一つであるので、これから調査結果が出てきた段階では、果たしてそれがその結果に基づいて、実現できるかどうか極めて重大な問題であり、かつ壁にぶつかるだろうと思うので、できるだけ情報については、出せるものは速やかに出して、とりわけ今議論があったように、議会には速やかに提出をして、皆さんの意見を十分に拝聴しながら、議会とともに進めていくというようなことを、ぜひひとつ実現して実行してほしいなということを申しあげて、私の質問を終わる。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 大きな6項目の柱で26項目の調査をしてきたという内容は、非常に分かった。
- ・ ただ、具体的な内容はこれからということなので、3月のいつになるか分からないが、下旬までには最終的な調査が出るということである。
- ・ それで、私が気にしているのはその後なんだけど、要するに収支報告も整備費も含めて、この内容について全て出るというふうに考えている。金額も出るでしょう。そのときにその出た調査内容を議会に図るのはもちろん当然のことだと思うが、今回の調査に私たちが賛成したというのは、市民が今

までの調査内容について納得していないということも含めて、詳細に洗い出して調査項目を皆さんに公表するということの目的があったから、私たちは賛成したんだけど、今後調査内容が出た後、市民への報告も含めて、どういう手続、手順を取って、結論に至るのかというあたりは、今の時点でどのように考えているのか、お聞きしたいと思う。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 今回、進捗状況に係る中間報告書について御報告させていただき、今後は3月下旬、具体的には3月22日までに事業者のほうから調査結果が提出される予定であり、市といたしまして、その結果について今年度中に公表するということを予定している。
- ・ その調査結果については、市議会はもとより、経済界のほか、J R北海道や国、北海道、近隣自治体など関係者への御説明、また広く市民の皆様とも情報共有をした上で、議論経過を含めて情報共有した上で関係する皆様との協議検討を重ねて、市としての意思決定をしまいたい。このようなプロセスで考えているものである。

○市戸 ゆたか委員

- ・ そういうプロセスを経て、意思決定していきたいということだが、この意思決定するに当たって、例えば国、J R、北海道、函館市の行政として、どのくらいの分担で整備費を負担していくのかというところがないと、ただ、例えば100億円がかかる——前回は1,000億円だったかもしれないけど——もし100億円でできるとなった場合、それが函館市で100億円を全部負担するのかということも含めて、そこら辺の分析もきちんとできるのか。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 今回、3月下旬の調査結果において、今、お話があったとおり、様々なパターンを想定した上で整備費であるとか、整備工程、収支といった結果が出てくるということを用意しており、その結果をまず見た上で……。現時点の整備費だとか収支予測の状況が出ていないので、財源の検討もその調査結果を見てからということにはなるわけけれども、そうした委員のほうから指摘があった観点については、十分重要的な視点であるので、財源をどうした形で考えていくのかということも含めて、庁内での議論、また関係者との協議も重ねながら、慎重に検討してまいりたいというふうに考えている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ もちろん慎重に検討していくというふうに私も思っているんだけど、その慎重に検討する期間だが、例えば1年かけて調査内容を先ほど言った関係団体や市民の方に説明していくのか、それとも2年かかるのか3年かかるのか、その期間の経過もあると思うんだけど、その件についてはどのくらいの期間を予想しているのか、分かる範囲で教えてほしい。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ 先ほど事業費、それから収支予測等のお話もさせていただいたけれども、今回、最終結果の中で新幹線が函館駅乗り入れするに当たっての具体的な整備工程、実際に整備期間がどれくらい要するのかというところも出てくる場所であるので、当然そういった要素が大きいところだというふうに考えており、その結果を受けた上で、早急に検討スケジュールについても検討してまいりたい。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 先ほど3月22日までには、最終的に調査結果が出るということであるが、その結果を受けて先ほど

内部できちんと調整して公表するというふうになるんだけど、それを経た上でも10日、2週間ぐらいはかかるかなというふうに思うんで、新年度に入ってからこの公表になるのかなというふうに思うんだけど、そういった意味ではぜひ、これも分かりやすいことは分かりやすいんだけど、結構、専門的なものも入っているので、市民が分かりやすく——これだったらできるね、これだったら無理だねという判断ができるような——そういう調査報告の公表をしてほしいというふうに要望して終わる。

○委員長（島 昌之）

- ・ ほかに発言ないか。（なし）
- ・ 発言を終結する。
- ・ ここで理事者は御退出願う。

（企画部 退出）

- ・ 先ほども申し上げたが、本件については最終報告が出てから改めて調査を行ってまいりたいと考えているので、よろしく願います。
- ・ 議題終結宣言

---

2 その他

○委員長（島 昌之）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前10時52分散会